

公益社団法人日本柔道整復師会 「匠の技 伝承」プロジェクト プレ開催報告

学術教育部

開催日時 平成31年1月27日(日) 13:00~17:00
開催場所 東京都柔道整復師会館 3階会議室
受講者16名 運営者・講師10名

司会進行 学術教育部 長谷川貴一
開会の辞 13:00 学術教育部長 長尾淳彦
開催の目的・意義を説明し、「プレ開催は本番への助走です。皆さんのご意見を参考にしながら今後進めていきたい」と述べた。



挨拶 副会長 萩原正和
「柔整の骨折・脱臼の取扱いが少なくなっている今、原点に戻り技術を継承していきたい。日整としてもどのようにしていったらベストとなるか検討中です。より良き研修となるよう皆で進めてほしい」と述べた。



挨拶 公益社団法人東京都柔道整復師会伊藤述史会長代理 新井 宏副会長
「骨折・脱臼の施術が減り資格そのものが危ぶまれる。制度改革で内容は充実していくが、それだけではなく本当の意味での匠の技が重要になってくる。この事業がうまくいくように、日整学術教育部に協力していく」と述べた。



講義1 (13:10~13:30)
肩甲上腕関節の機能解剖
学術教育部 米田博伸

肩甲上腕関節の解剖を紹介し、構造の特徴などを概説。



講義 2 (13:00~14:30)

超音波で観察する肩関節の解剖と肩関節脱臼

学術教育部 佐藤和伸

株式会社エスエスビーの協力のもと、モデルを使って実際の超音波画像を提示し、講義1を受けて超音波解剖を詳述。また肩関節脱臼や脱臼骨折などの超音波画像を紹介し説明。



講義 3 (14:30~14:55)

肩甲上腕関節脱臼の発生機構(機序)

メカニズムの理解

高須周平会員

烏口下脱臼の発生機序やコッヘル法による整復を、FraDisビデオと骨模型シミュレーターを使い説明したあと、聴講者全員が実際にシミュレーターに触れて整復法を体験。



休憩 (14:55~15:05)

講義 4 (15:05~16:50)

肩甲上腕関節脱臼の整復・固定

高崎光雄会員

肩甲上腕関節の構造や肩関節脱臼の発生機序や特徴、合併症などを説明したあと症例を提示。歴史的な種々の整復法を動画で紹介して、固定法や後療を説明。



閉会の辞

(16:50)

学術教育部長

長尾淳彦